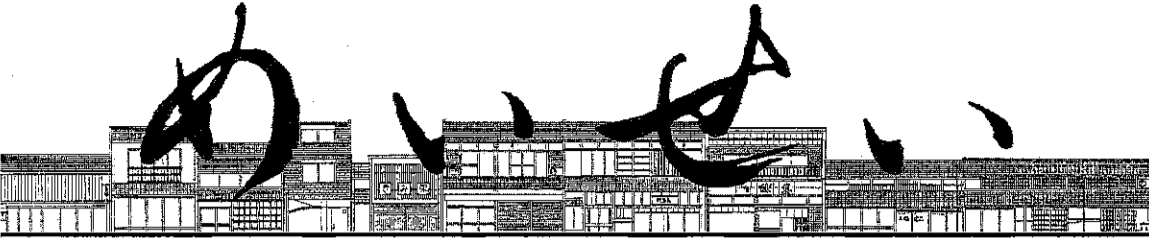


http://www.e-meisei.net

No. 65

発行 (公社)愛知建築士会名古屋西支部
編集 広報渉外委員会
名古屋西支店名西一丁目20番49号 クラ設計内
TEL(052)908-0939 FAX(052)908-0836
印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227



あるじ
みのじの館 主の引き継ぎ

6月2日尾張西枇杷島祭りの日、みのじの館開館以来10年間に渡って「主」として美濃路を見守り続けてこられた中村順吉先生から、新たな「主」として名乗りを上げられた渥美大作さんへの引き継ぎが、みのじの館にて行われました。

参加した西支部会員と共に開館当時を振り返りつつ、美濃路の変遷・これからの美濃路について大いに語り合い、西支部の関わり方についての方向性を再確認することが出来たと思います。

中村順吉先生と渥美大作さんに、美濃路に関連してお話を伺いましたので報告します。

中村順吉先生から

Q.10年間、美濃路の変化を見守ってこられました、特に印象的だったことをお願いします。

A.美濃路まちづくり推進協議会及び愛知建築士会名古屋西支部として私たちの活動評価という意味では、(財)愛知教育文化財団の助成、愛知県まちづくりの表彰を挙

げたいと思います。又、地域まちづくりの実施では、現実的な効果を発揮してきたと自負しています。更に、空間を創ることに関わったのが、新川橋ポケットパーク設計監理、津島街道分岐ポケットパーク設計監理及び新川空き町家改修工事実施設計です。

Q.みのじの館の「主」として、特に苦勞されたことは何でしょうか。

A.展示コーナー継続維持の発展に協力することでした。

Q.みのじの館の前を通りがかると、いつも軒先にかわいらしいお花がありました。美濃路を通る方々へのメッセージをお願いします。

A.北側歩道なので毎日花の出し入れ及び水やり、花の咲く鉢の取り替えに気がつかない、名鉄をはじめ様々なウォーキングに協力しました。やはり美濃路を歩いていただく人に、「ちょっとした心づかい・おもてなし」のような気持でいます。

Q.「主」を交代されることについて、私たち建築士に向けて先生の熱い思い・メッセージをお願いします。

A.平成24年度5月23日美濃路まちづくり推進協議会で決定した西区五条橋詰ポケットパークの実施計画、清須市内史跡案内板の設置に向けて努力してください。

次は渥美大作さんです。

Q.みのじの館の新しい「主」として、自己紹介をお願いします。

A.この度、みのじの館に事務所を構えることになりました渥美大作です。

これまでは建設会社の設計部に勤務し、意匠設計に携わってまいりました。

この度、独立を決意し開業について検討していましたところ、偶然にもみのじの館で設計事務所を営む人を募集していることを聞き、入居を希望いたしました。



Q.みのじの館、或いは美濃路の印象はいかがですか?

A.みのじの館は昔ながらの町屋そのもので、これまで積み重ねてきた歴史により、初めて見た私にも懐かしさを感じさせる趣が備わっています。

これから室内や中庭に手を入れていくことを思うと、とても情緒豊かな空間ができそうで、想像が膨らんでゆきます。

美濃路にはみのじの館の他にも同様の古い建物が軒を並べ、往時の様子が伺いれます。このような街並みが震災を逃れ現存していることに驚かされました。そして、それら古い建物が見世物化せずに現役として利用され、街が生き続けていることにより、一層魅力的に映るのだと思います。

Q.「尾張西枇杷島まつり」はいかがでしたか?

A.二ツ杵駅に到着後、真っ直ぐみのじの館へ向かおうとしましたが、人出のあまりの多さに歩くこともままならず、祭りの活気に圧倒されました。皆に愛されている祭りであるから、これほどまで人が集まってくるのだと感心しました。

尾張西枇杷島まつりに来るのが初めての私は、夕暮れ時に訪れたため、肝心の山車の巡航を目にすることができませんでした。でも、次は見逃しません。

Q.今後の抱負をお願いします。

A.この度、みのじの館の館長となることができて大変光榮に思っております。これからはみのじの館と共に活躍できるようがんばってまいります。入居に当たり内装の改装を計画しており、だれもが気軽に立ち寄れて、長居したくなるような憩いの場になりたいと考えております。

みのじの館について不案内ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。



渥美大作氏

中村順吉先生

枇杷島みのじ会会長 後藤昌治氏

青年委員会 平成24年度 新入歓迎会の報告と今年度の活動予定

名古屋西支部青年委員長 原 英光

6月27日、名駅にある花咲酒蔵「ウメ子の家」にて、丹羽豪、小川剛志、内田葉莉亜 3名の新入会員を含む16名の参加にて、平成24年度名古屋西支部新入歓迎会を開催しました。

新入会員の方は、3代目になる大工さん、5代目になる工務店さん、それから会社は直接建築に関係なくても建築士の資格を取得して自社のとても大きな建物に関わって見える方でした。お話をさせていただいて、私たちの名古屋西支部エリアは古くもありながら新しく変化し続ける、歴史ある近代都市であることを実感しました。

名駅の高層ビル群のふもとには歴史ある面白い町並みがあり、街を歩くと地域ごとに個性豊かな街並みを見ることが出来ます。高層ビルや沢山の店の並ぶ地下街、

昭和の匂いの残る商店街、文化の感じられる街道などなどそんな中には、まだまだ知らない魅力がきっと隠されているはず、自分の住む街がどんな街なのかもっと知りたい。建築に関わるものから見たいろいろな魅力を見つけて、次の代へと受け継いで古いものの良さと新しいものの良さが上手に入り混じる街になるように、建築士会の活動を通じて、少しでもお手伝いができたら良いなと思いました。

名古屋西支部青年委員会では今後建築士会の枠にとらわれず、地域のかたに発信できる催しを計画して、お誘いの案内をさせていただきますので、身近な方もお誘いしていただき、より多くの人たちに参加してもらえるようにご協力をお願いします。

青年委員会は、みのじの館で毎月委員会を開催する予定です。興味のある40歳までの建築士の皆さん、是非ご参加ください。

●今後の活動予定

- ① パネル展示会 おおよそ秋ごろ
地元の面白い建物や風景を写真に切り取り発表する
② みのじの館改修でのワークショップ 随時
③ カルチャースクール おおよそ秋ごろ
地元の人でも参加できるようなイメージです

Advertisement for construction services including SMD杭 (Super Mini Drill), DM工法 (DM Method), and HITSコラム (HITS Column). Includes contact information for Honjin Co., Ltd.

Advertisement for Murate Co., Ltd. specializing in residential renovation, renewal, and seismic reinforcement work. Includes contact information and website URL.

美濃路ウオツチング 白井 録造

【伝馬橋史跡説明板設置提案】助成金獲得

6月16日(土)名古屋都市センターまちづくり広場・大ホールにおいて、公益社団法人名古屋まちづくり公社、平成24年度まちづくり活動助成(地域「魅力」アップ部門)選考会が開催されました。応募したのは13団体。各団体5分間のプレゼンテーションと、審査員からの質疑への回答が3分間あり、1次審査が終了。その結果、10団体が1次審査を通過し、そのあと1次審査通過各団体への公開質疑が行われ、7団体が助成団体に選ばれました。「清須越400年事業ネットワーク」は標題のテーマを提案し、50万円の助成申請に対し、40万円の助成となりました。助成金総額262万円です。

本紙前号では、「伝馬橋史跡説明板設置提案書」を名古屋市長政土木局へ提案したことを報告しましたが、その実現へ向け大きなハードルの1つを乗り越えることができました。

伝馬橋史跡説明板の必要性

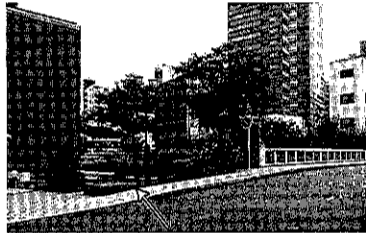
平成23年度に名古屋市は都市計画マスタープランを策定し、そのなかで、世界に誇る都心づくりとして「名古屋駅」「栄・伏見・大須」「ささしま・名駅南」そして「納屋橋・四間道」の4地域が重点地域に位置付けられました。

◇納屋橋・四間道地域

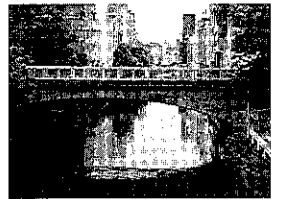
- ①歴史ある水辺空間である堀川を生かしたまちづくりを進めることで、都心の風格とうるおいを創出します。
- ②堀川に隣接する歴史的建造物の活用に取り組むとともに、親水性の高い広場や遊歩道の整備を図ります。
- ③歴史的な建築物の商業的活用や、路地空間など歴史的な資源を生かした魅力ある空間づくりをめざします。
- ④納屋橋地区においては、再開発事業等により商業・文化機能等の集積をはかり、広小路通の集客性や回遊性の向上をめざします。

以上のように述べられています。

本紙前号のトップで、支部長から「四間道・那古野地域まちづくり」立ち上げ団体会議が今年1月から始まった報告がありましたが、この地域まちづくりは西区の枠に制約されています。そこで納屋橋(中区・中村区)から四間道をつなぐ要として伝馬橋(中区・中



説明板設置箇所



伝馬橋

村区)が重要になります。伝馬橋史跡説明板は名古屋市都市計画マスタープランのさきがけであり、納屋橋と四間道をつなぐ架け橋としての役割を担います。

年内完成を目指し、手続きを進めてまいります。

美濃路まちづくり推進協議会「平成24年度総会」開催

平成24年5月28日、清須市新川体育会館小会議室において、平成24年度総会が開催されました。西区まちづくり推進室主査・松葉知恵子氏、清須市企画政策課主任・岩田紀昭氏を来賓に迎え、会員14名の出席のもと、23年度事業報告、決算報告、監査報告が承認され、24年度事業計画案、予算案が承認されました。5号議案として役員改選案が提案されました。中村会長が体調不良により辞任され、白井録造が会長へ、事務局長には山田正博(以下敬称略)、会計に森登、常任委員に江口眞樹、新会員に高倉康人、監査は横井正治に代わり中村順吉が就任、他の委員は留任とする案について審議され承認されました。協議会発足以来、14年にわたり会長を勤めて来られた中村順吉氏には、長い間のご尽力とご功績に感謝申し上げます。

- 今年度の事業としては、
- ◇橋詰神社・「頼朝車」山車蔵の移転計画推進。
- ◇「四間道・那古野地域まちづくり協議会」への参加。
- ◇「伝馬橋史跡説明板」の実現を図る。
- ◇清須市内の美濃路近辺にある史跡に説明板を設置する。等々を進めていきます。

また、みのじの館には本号に別載されていますように新しい館長が入居予定となっています。協議会も新しい世代へ引継ぎの流れができてきたようです。また、秋にはみのじの館において「ジャズライブ」を企画しています。これまでにない新しいまちづくりの展開が図られており、楽しいまちづくりの中から、地域の発展を目指して行きます。

伝馬橋(いなせぼり)

堀川ができた時に架けられた七橋の一つ。当時、長さ十一間五尺(約二二M)、幅三間(約六M)、高欄掘り付の板橋で、五架橋と同じく清須越の橋ともなわらぬ。

美濃路がこの橋を通るため、西国大名や旅人が名古屋を通る時には、皆この橋を渡り、堀川で一番賑わっていた名古屋を代表する橋であった。橋の東側には清須越した材木面などが集まっていた。

融田に架けた美濃路は本町通りを伝馬町筋で西折れし、伝馬橋に至る。清須越により清須から移った伝馬町の名前の由来が、この橋の名前の由来である。美濃路はここから北上し、五架橋、西端を通り、枇杷島、清須、起(一宮市)を経て中山道、墨井へ向かう。

徳川家康による街道整備と清須越により美濃路は現在の位置となった。

(注)清須越は一六〇〇年徳川家康の命により清須の町が名古屋へ移されたことによる。

名古屋市長政土木局

尾張名勝絵図 伝馬橋

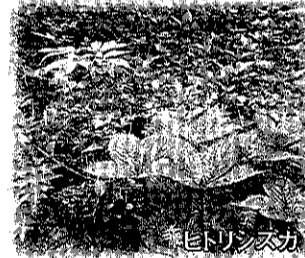
伝馬橋史跡説明板

山歩き同好会

国見岳～大禿山～御座峰 森 登

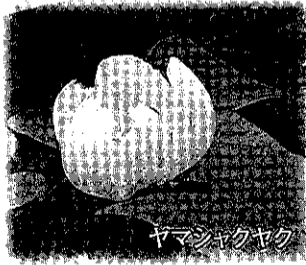
5月20日(日)、本年度第1回目の山歩会に参加しました。目的地は高山植物で有名な伊吹山の北側に位置する国見岳～大禿山～御座峰のピストンです。暑くなく寒くなく薄曇りのポチポチの天気でしたが、山歩きには最適で、今回は大人ばかり9名の参加でした。

大垣大橋から揖斐川西側堤防道路を経て国見峠からの入山です。「マイナーなコースで、当然人は少ない、静かな山歩きになる…」トンデモナイ。峠はマイクロバス、自家用車がいっぱいで、多くの登山者でワイワイガヤガヤ…。気を取り直して、いきなりの急登。見晴らしもなく樹林帯をゼイゼ



ヒトリシスカ

ました。大禿山はすぐそこですが登山道はアップダウン。高山植物(イチリンソウ・キンボウゲ・ヒトリシスカ・ヤマシャクヤク等)が凹みかけた気持ちを和らげてくれます。大禿山からは伊吹山スカイラインが遠望でき、谷の斜面には白の可憐な花(名称不明)の群生がありました。その谷を吹き上って来る風がとても気持ち良く、快適な縦走路でした。帰宅後即、



ヤマシャクヤク

下山途中に収穫した「根曲り竹」を七輪で直火焼き、田舎味噌(酒・味噌・砂糖・胡麻油で調整)を付けて…。五感すべてで春山歩きを堪能することが出来ました。秋には第2回山歩会があります。皆さんもぜひご参加ください。



根曲り竹



国見岳山頂にて

構造設計者の集い

三菱電機・ツインアーチ138見学会の報告

株式会社TKアーキテクト 伊藤 康

平成24年6月8日、三菱電機稲沢製作所と、国営木曾三川公園三派川地区センター展望台(通称:ツインアーチ138)の見学会が開催されました。

「構造設計者の集い」代表 江口さんの紹介で、三菱電機のオンリーワン技術のスパイラルエスカレーター、工場の屋根緑化を見学しました。高層ビル用エレベーターの試験塔・ソラエ



三菱電機稲沢製作所にて

週間前にトラブルがあった為、残念ながら試験塔内の見学は出来ませんでしたが、館内のショールームで、エレベーター・エスカレーターの歴史と技術変遷、最新技術を体験させていただきました。エレベーター1号機は1935年に伊勢丹に設置され、エレベーターガールが手動で扉の開閉と、驚くべき事に、床段差の調整も行ってた様です。現在の高層ビル用エレベーターはコインを縦に置いても倒れない、ゆれを無くす緻密な技術と世界最速を実現しているとの説明を受け、改めて技術力の高さを知ると同時にメイド・イン・ジャパンに誇りを感じました。

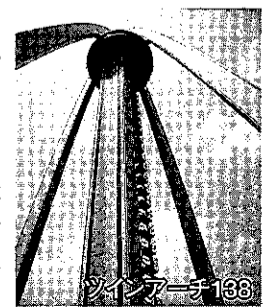
試験塔は稲沢に因んで173mありますが、試験上同程度の高さは必要との事でした。その構造は四角形ですが、ねじれ剛性の配慮で、上部と下部で45度振っています。また、風・地震に配慮しオイルダンパーと、私の実家三重県でも影響のある、伊吹おろし(日本海側からの冬の季節風)に配慮し、最上階に制震装置が設置されています。

屋上緑化はサッカー場約1面分で、わずか80mmの土厚ながら、施工して4年半経った現在でも38種全ての植物が育っていました。驚くことに4階建ての屋上にも

係らず、敷地外から昆虫や野鳥、中にはカルガモが産卵していく様です。

ツインアーチ138につきましては、「構造設計者の集い」メンバーの富田さんが設計されたとの事で、詳しくお話を伺う事が出来ました。一宮に因んで138mの高さを誇る展望台で、アーチが十字で上下に交わったユニークな形です。その鉄骨造のアーチ断面は、36mm厚の鋼板で、その内部には縦横に何枚ものスチフナーが付けられており、ジャッキアップする工法で組み上げられています。ここでもまた、日本の技術力の高さを知りました。見るだけでなく、設計・施工時の苦労やアイデア等を聞く事は楽しく、現場を知ることの必要性を改めて強く感じました。

最後に、この見学会を企画・案内して下さいました、江口さん、富田さん、三菱電機の方々には大変お世話になり、この誌面をお借りして心からお礼を申し上げます。



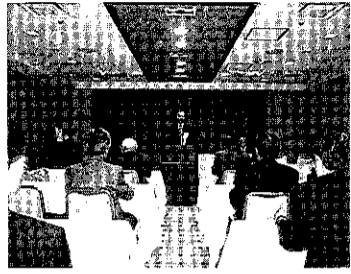
ツインアーチ138

24年度支部総会報告

高倉 康人

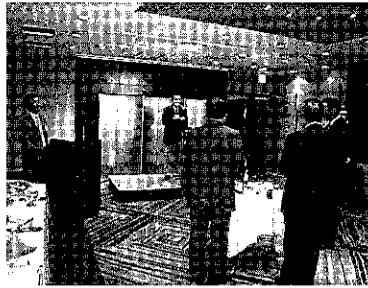
去る4月19日ホテルサンルートプラザ名古屋において、平成24年度の支部通常総会が、本会より佐藤東亜男会長をお迎えして出席者113名（委任状86名を含む）にて開催されました。

岡田巖副支部長の司会にて原英光氏の開会の言葉の後、牛田信彦支部長より昨年度の支部事業への会



員に対する謝辞、公益社団法人化と創立60周年の報告、及び24年度の支部活動への協力を依頼がありました。続いて来賓の佐藤東亜男会長より、

西支部の本会活動支援へのお礼と、昨年度末に会員増大推進特別委員会を発足、会員数増大への協力、運営会議の内容を明確にするため支部間交流の活発化等に協力を依頼されました。



引き続き議長に志賀勝則副支部長が指名され議事審議が進行し、第1号議案、第2号議案ともに異議無く拍手多数により承認されました。補足として青年委員会の活動の活発化を促す提言がありました。総会終了後、会場を移して懇親会が行われ、岡田巖副支部長の司会により例年以上に盛り上がった交流の場が持たれ、最後は支部相談役の中村順吉氏による一本締めで終了しました。

お城が燃える! 牛田 壬子

戦争体験の語り部

掛けても掛けてもすぐに乾いてしまいます。水は肩まであります。一步奥へ踏み出すとすぐ水は口まで来てしまいます。熱風がびゅうびゅうと吹き荒れ、真暗闇の中をトタン板や屋根瓦が木の葉のように舞っています。あちらこちらに助けてという声がありますがどうにもなりません。

昭和20年5月14日午前7時警報発令。ラヂオを聞いていた父が「潮岬を北上といっている。今日はお城を目指してやってくるからどこにも行くな」といいました。私は此の時16才、学徒動員で学校工場へ毎日通っておりました。家は堀川端、筋違橋の西詰めにあり、味噌溜の醸造業を営んでおりました。すぐに日常使っているものを手当り次第に家の防空壕へ投げ込み、入口の木の蓋に土をかけました。

午前8時、空襲警報発令と同時に家の前の道路に焼夷弾がパラパラと落ちて来ました。其の数の多い事。すぐにあちらこちらに火の手が上がります。

父と共にそれぞれ自転車に乗って家を飛び出し、先ず川沿いに南へ走りましたが、道路に火の付いた電信柱が横たわって通れません。筋違橋を渡って南へ走りましたがここも電信柱が倒れ道をふさいでいます。橋詰めの家の軒先へ身を寄せると今度はその家も燃え出しました。お堀橋を東へ逃げようと走り出しましたが「練兵場は荷物を持った人が一杯ですぐ火が付く。水へ飛び込もう」という父の一声でお堀へ飛び込みました。

つい先頃まで空は真っ青に晴れ渡っていましたが、道路沿いの家も真っ赤に燃え上り、障子の棧だけが紅蓮の炎の中に黒く浮き上がって見えます。堀端に植えられてある並木の柳も、その下の竹で作った鶏の竹籠も熱気で燃え上がり、熱い熱い。「石垣にしがみ付け、一步でも沖へ行ったら死んでしまうぞ」という父の声に一生懸命岸の石垣にしがみつきました。頭にかぶった防空頭巾の上から、手で水を

どのくらい時間が経ったでしょうか。うしろの暗闇から火の手が上がりました。お城が燃えました! 三階の東側から炎が上がっていました。金の鯨を下ろす為丸太で組まれていた足場に焼夷弾が引掛って燃え出したのです。熱い熱い!! 手で水を頭へ掛けながら熱い熱いと叫びながら泣いていました。

どのくらいの時間が過ぎたでしょうか。空襲警報解除のサイレンでやっと地上の道路へ上がりました。筋違橋の橋の上に立ちました。辺り一面焼け野が原、電信柱も私の家も皆なくなっていました。ただ唯、真白な灰だけがふわふわと風に舞い上がるばかりでした。西の彼方に押切線の市電の架線の銅線が、何時の間にか晴れ上がった太陽の光を受けて、やけにキラキラと輝いて見えました。

丁度正午でした。同じ焼夷弾を浴びたであろう西北角櫓は現在も無事です。あの時足場が組まれていなかったならば、名古屋城も無事に生き延びていたでしょう。でも燃えてしまいました。これも運命でしょうね。



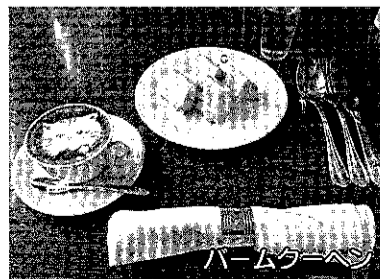
私のおすすめ

「ドライブへ行くこと」 遠藤 昭子

最近の楽しみといえば、娘が免許を取り、運転練習と称してドライブへ行くことです。

先日は近江八幡へ行き、「メンタム」で有名な近江兄弟社の創立者でもある、「ウィリアム・メレル・ヴォーリス」の建築を楽しんできました。

まずはバームクーヘンで有名な「クラブハリエ」のある日牟禮ヴィレッジです。そこではヴォーリス建築の中でイングリッシュガーデンを眺めながらおいしいバームクーヘン



とお茶を楽しみました。

おながが満たされたところで、町並みの散策です。時代劇やドラマの撮影も行われる八幡堀沿いや近江商人たちの資料館を見学しました。

ヴォーリス建築の旧郵便局では当時のカウンターやガラスにうつすらと残る「交換室」の文字に当時の面影を感じながらゆっくりとした一日を娘と二人で過ごしました。



クラブハリエ



八幡堀

秘密のクワン

牧野神明社 渥美 大作

愛知県はお寺の数が最も多い県ですが、神社についても県別の神社数は4位、単位面積当たりの数では2位という大変神社の多い県でもあります。そして、私の住まいのすぐそばにも牧野神明社という名の神社があります。境内は木々が茂り、いつもきれいに清掃されています。日頃はあまり人影を見ることもないので、ゆったりとした気持ちで森林浴を楽しみながらお参りすることができます。考え事をするときなどには打って付けの場所で、神霊パワーも力添えしてくれます。



牧野神明社

中村区 太閤一丁目

この牧野神明社は、伊勢神宮の内宮に見たてられ天照大神を祭神としており、三重県出身の私にはご縁を感じずにはられません。10月には甘酒祭りがあります。1800年頃までは境内に大きな藤の木がありました。花期には大勢の観客で賑わい田畑を踏み荒らされたため、藤の木を伐採したところ村中に疫病が流行しました。陰陽師が占うと、藤の木の祟りであり酒を醸して神に献ずれば治るとのことでした。そこで近くの笈瀬川の水で甘酒を造り神に献じたら、たちまち疫病が無くなったといわれ、以来神事として甘酒祭りには早朝より甘酒を作り、家内安全・身体健康が祈願されています。



巖島神社

中村区 太閤五丁目

身近な神社にこのような逸話があることを知って随分と驚きました。この地には古くから牧野5社と呼ばれる神社があり、牧野神明社のほかにも河童伝説の伝わる椿神社、周囲をお堀に囲まれた巖島神社、稲穂社、須佐之男社と神社が点在しています。

みなさんの氏神様にも興味深いお話があるかもしれませんね。



椿神明社

中村区 椿町

名古屋西支部 新入会員紹介

H24. 3. 1

地区	氏名	生年	自宅住所
西	小川 剛志	S55	〒451-0013 名古屋市西区江向町6-17
西	丹羽 豪	S50	〒451-0066 名古屋市西区児玉1-15-13
西	堀尾 典子	S56	〒451-0043 名古屋市西区新道1-15-12
中村	内田菜莉亜	S60	〒461-0022 名古屋市東区大曾根46-6
中村	梅本 昌尚	S51	〒464-0017 名古屋市千種区鍋屋上野字汁谷3520番地の1

またもや猛烈竜巻が国内に発生!

~建築士は如何に対応するか~

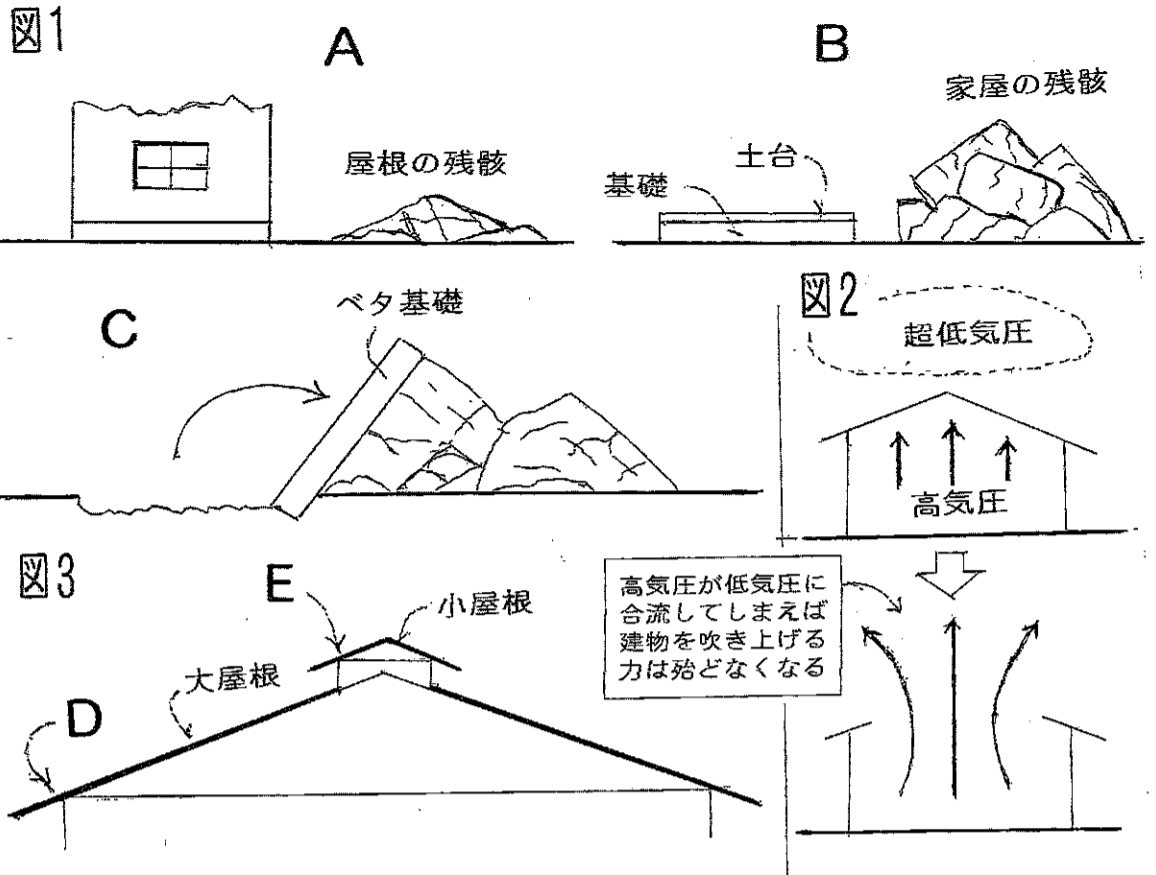
解説担当 馬場 富雄

今年の5月6日午後、茨城県つくば市で巨大竜巻が発生した。気象庁の発表によると、風速は60m~70mであったとのこと。我々の建築基準法では、強風対策として義務付けているのは、せいぜい風速40mぐらいまでであるから、70mとなるとその破壊力はどれくらいであったかをここで考察してみる。つまり、強風の破壊力は風速の2乗に比例するから $40^2:70^2=1600:4900=1:3$ となり、法規制の3倍くらいの力が働いたことになる。こんな力が働けば地上の自動車も空中に舞い上がってしまう。こんな大きな風圧に対してビクともしない木造建築物の設計は……!? そんなことは不可能である。

では、どうしたらよいのか。ここで建築士は発想の転換をしなければならない。それはどういうことかと言うと、我々は今までは、構造設計に際して「壊れないものを造る」ことを前提としてきた。しかし、この考え方を転換して、「壊れることを前提として造る」のである。現在の建築基準法にも防火区画の規制があるが、これは建物内に火災が発生することを前提として考えられている。もし、建物内に火災が発生すれば、その火災を一つの防火区画の中に閉じ込め、その区画内での全焼は認めるが、建物全体が大火災にならずに助かるのである。

この考え方を構造設計に当てはめると、建物の一部が破壊されることは認めるが、その一部の破壊で建物全体の大破壊を防ぐという考え方である。

それでは、これよりその設計方法について説明する。まず、今回の竜巻の被害を分類してみると、図1のA、B、Cのパターンになる。Aの場合は屋根が壊れて飛んでしまうが、外壁、内壁はそのまま残る型。Bの場合は建物全体が壊れて飛んでしまい、現場に残るのは基礎と土台だけとなる。Cの場合は今回の事例であるが、建物は余程しっかりと一体化されていたと考えられるが、超強大な外力に対しては図のようなベタ基礎ごと倒れる恐ろしい結果になってしまった。



それでは、Aの場合、なぜ外壁内壁が無事に残ったかを説明する。ここに今回の設計技術のヒントがある。図2は屋根が壊れて飛んだ理由を示したものである。大竜巻による超低気圧が発生して建物内に予めあった高気圧の空気が猛烈な力で低気圧のほうに合流しようとすることによって屋根が壊れて飛んでしまうのである。このあと建物の中の高気圧の空気が低気圧と合流してしまうと、それで事は終わり、外壁内壁を破壊する力はほとんどなくなるのである。もし、屋根が頑丈な構造で且つ外壁内壁との緊結が十分に施工されている場合は屋根を持ち上げる力は建物全体を持ち上げる力となり、柱が土台と離れて浮き上がった瞬間、建物はバラバラに壊れてBの型となる。このことから、大屋根の一部に弱い小屋根(通常の台風には耐えるもの)を造り、強大な竜巻の時はこの小屋根が吹き飛んでその穴から建物の中の高気圧の空気が噴き出してしまえば大屋根を持ち上げる力はなくなり、大屋根は壊れずに助かるのである。このような設計思想は我々の周りにたくさんある。

例えば、圧力釜も鍋の中が異常な高気圧になった場合、安全ピンが跳んで中の蒸気を噴出させ、爆発事故を防ぐのである。このことより、図3は大屋根を守るための小屋根を設計した例である。D、Eの緊結でDに対してEを若干弱くしておけば必ず破壊はE部分で発生し、小屋根が飛んで高気圧の空気が噴出し、大屋根を始め建物全体が助かることになる。

現在、アメリカでは年に1000回くらいの竜巻が発生するとのことである。日本でも、今後気象の変化でそうなるかも知れず、我々建築士は今後強大な竜巻に対して設計施工技術の研究に努力しようではありませんか。

問題 台風と竜巻の記述について、誤っているものは次のうちどれか。

1. 台風は主に日本の南海上で発生する
2. 竜巻は海上では発生しない
3. 台風は秋以外の季節にも発生する
4. 竜巻の発生は季節と関係なく発生する

研修委員会 平成24年度 行事予定

牛田 清文

昨年度に引き続き研修勉強会を2回と研修見学会を2回の実施予定です。勉強会は11月と2月に、見学会は9月と1月に予定しています。

第1回研修見学会を9月8日に行いますので、参加をお願いします。

行きます。行くところは、福井県坂井市にある丸岡城と一乗谷の朝倉氏遺跡と今立町の佐々木小次郎ゆかりの地です。丸岡城は、別名霞ヶ城と呼ばれ合戦時に大蛇が現れて霞を吹き、城を隠したという伝説によります。

1576年に柴田勝豊により小高い独立した丘陵に築かれた平山城です。現存最古の天守があり、国の重要文化財

に指定されています。屋根瓦には寒冷地であるという気候事情により石瓦で葺かれています。劇場映画で、各地、城のモデルとなり、現地ロケが行われています。

本年度も様々な出会いや体験の「場」となるような企画を考えておりますので、参加くださいますように宜しくお願い申し上げます。

春夏秋冬

恥ずかしながら私は、今まであまり向上心のない生活を送ってまいりました。

与えられた仕事をただこなす、その方法や内容について何も考えようとせず、同じことの繰り返しの毎日でした。そこには何のスキルアップもなく、大切な時間を無駄に使っていただけでした。まるで大量生産のロボットのように、感情もなく善悪の判断すら薄れていくのではないかと、非常に危機感を

持ちそんな日々を打破するには自分を変えるしかないと思いました。

自分を変える為には、もっと貪欲に勉強し先人達の知恵や教ををしっかり理解し、常に何故そうなるのか疑問を持ち、自分の頭で物事をよく考え判断する事が必要だと考えます。

このような意識改革こそが、自分を変え自分の見ている世界を変えるのだと信じています。

丹羽 豪

編集後記

防災出前講座(ストローハウスを作ろう)の報告を1面トップに予定していましたが、台風の影響で延期になってしまいました。タイムリーな記事を目指していますが、紙面構成の変更は骨がおれます、特にトップは。

ところで皆さんの仕事場の世代交代はいかがですか? みのじの館のように新しい風が吹くように風通しを良くしておきたいものですね…。 森 登

Total Media Support

WELL ON

株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
URL <http://www.well-on.co.jp/>

16190101(03)
03020000000000

平成23年度 1級建築士 設計製図試験

愛知県 合格者占有率

愛知県合格者占有率 愛知県の合格者の3人に2人以上は、当学院の受講生でした。

67.6%

愛知県合格者262名中、177名が当学院受講生

1級・2級建築士
1級・2級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
宅地建物取引主任者
インテリアコーディネーター

総合資格学院 結核 TEL.052-202-1751
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-2-22 中部資格ビル 1F